

事業所名

放課後等デイサービス だいち

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和8年

4月

1日

法人(事業所)理念	社会福祉法人 自立の里の法人理念【1.主体性・2.可能性・3.地域性】の実現に向け、各種事業を円滑かつ適正に、また効果的に実施することにより、支援サービスの充実・向上を図るとともに、利用者や保護者のニーズを把握し、将来を見据えた事業の推進に努める。		
支援方針	利用者一人ひとりの課題やニーズをアセスメントし、それに基づいた個別支援計画を作成し、より適切な支援ができるように努める。 活動を通して生活能力の向上や社会や地域との関わりを促進するために必要な支援を行っていき、個人の障がい特性や置かれてある環境に応じた専門的かつ効率的な指導及び訓練を実施。		
営業時間	平日 14:00~17:30 休校日 9:00~17:30	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	各利用児の障がい特性を理解したうえで、全身の状態観察を実施し、成長発達を促せるよう介入し支援にあたる。 厨房のスタッフと連携を図り、それぞれの機能面に適した食形態での昼食提供を行い、しっかりと食べる経験を積むことで食事の楽しさや摂食嚥下訓練を実施。 看護師による日常の健康状態チェックを行い、様々な医療的デバイスに対応しながら医療的ケアの必要な児童の健康維持を図る。	
	運動・感覚	機能訓練担当より日常生活での必要動作など計画的なりハビリ(全身のマッサージ、可動域訓練など)や個々の発達段階に応じた介入を実施。 活動を通して視覚や聴覚、触覚の感覚を刺激する機会を設けていく。	
	認知・行動	支援室の環境設定において、収納場所の見える化や動線の確保の仕方を意識した配置を工夫し、認知能力の向上に努める。 一年を通して季節ごとの行事やイベント事を体験する活動を設定し、四季の移り変わりなどを感じる機会を設ける。	
	言語 コミュニケーション	利用児各々の特性を理解したうえで、自己を表現する術を練習する機会を継続して実施。 非言語コミュニケーションにより、他者に自己の意思が伝わる喜びを知り、意思疎通の体験を行う。	
	人間関係 社会性	スタッフとの関係性の構築を図り、中長期を視野に見据えて持続的に関わることにより信頼関係を築き安心感を得る。 集団活動への参加を通して、他者と協力する活動の経験や、気持ちを共有する喜びを感じてもらう。 他の事業の利用者やスタッフなど、同世代以外の年齢との交流の機会を持つことで、他者の存在の認識に繋げる。	
家族支援	送迎時や日常的な会話から、社会資源の活用具合や家庭の状況を確認し必要に応じてアドバイスを実施。	移行支援	同法人内の生活介護事業、居宅介護事業、短期入所事業、日中一時支援との連携を図っていきます。
地域支援・地域連携	学校や福祉サービスと連絡を取り、交流や情報交換の場を設定。	職員の質の向上	月一のスタッフミーティングを開催をし、利用児の近況情報の共有。 職員の各種勉強会や研修への参加。
主な行事等	同法人内の生活介護が開催するイベント(展覧会、コンサート等)への参加、地域のスポーツ大会(ボッチャ)等への参加。 長期休暇時は外出体験		